

中大ヒューマン・ ネットワークのなかで



学長
角田 邦重

中央大学を旅立つ皆さんに心からお祝いを申し上げます。卒業おめでとう。

皆さんが中央大学での学生生活を通して、これからの職業生活生き抜く力を身につけたに違いありません。を期待し、また信じたいと思います。もちろん、皆さんが学んだ知識それ自体がすぐに役立つほど現代の社会は単純ではありません。中央大学も、既に二年前にアカウンティング・スクールを開校し、この四月からはよいよロスクールが、そして来年四月には行政大学院、その次には文理融合型の電子社会システム研究科

の開設といった大学院の充実・強化に向けて取り組んでいます。これは社会の高度化・複雑化に伴って、

専門的職業人養成の場が学部だけでは足りず大学院の場へシフトしていることを表しています。わが国の企業は、これまで入社後の社員研修やOJT (on the job training) というられる職務経験をとおして能力を高める人材育成のやり方をとつてきました。産業界を取り巻く急激な変化に対応するために、経験を超えた専門知識や社外経験を重視する傾向が強まっています。実際、中央大学のアカウンティング・スクールで

学ぶ学生は殆ど社会人で占められていますし、ロー・スクールにも予想以上に沢山の社会人の応募者があったのに改めて驚いています。皆さんも、その必要性を感じたら、もう一度、中央大学の専門的職業人を念頭においた大学院の門を叩いて下さることを期待しています。

しかし実務的専門教育といっても、学部教育のしっかりした専門的基礎教育の上に行われるのでなければうまくいくはずがありません。「大学で学んだことをおろそかにしてはいけない」、当たり前のことのようにみえますが、皆さんは、嫌というほどそのことを痛感させられるはずです。そして胸を張って、なるほどこれが「実学の中大」の伝統なのかと気づいて欲しいと期待しています。言いたいことは、もうひとつ。どんな職業分野に進むにせよ、皆さんが出会うことになる仕事は、特定の専門分野の知識で間に合うようなものではなく、他の分野にまたが

る知識やそれを吸収する好奇心と能力、さらには異なる分野の人の協力やそれを可能にする組織力といった人間的な総合力が要求されるはずです。それを可能にするのは、もちろん皆さんの努力ですが、同時に、大学時代につくった友人、様々な分野、全国各地で活躍している学員と呼んでいる中央大学OBの広くて厚いヒューマン・ネットワークの重要性に気づいて欲しいのです。考えてみると大学は、全国から集まってきた学生が少なくとも四年間の生活をともにする生活空間であり、また二〇年近い長い伝統に支えられて沢山の優れた人材を輩出してきた時間軸のなかにあります。皆さんは、このヒューマン・ネットワークのなかから、多くの出会いと貴重な示唆を学ぶことが出来るはずです。

みなさんが卒業後も中央大学ヒューマン・ネットワークの一員にとどまってくださることを期待しております。